

大雪対策に関する関係閣僚会議

日時：平成24年2月2日（木）
17時45分～18時05分
場所：官邸4階大会議室

議 事 次 第

1. 総理大臣訓示
2. 気象状況及び今後の見通しについて
3. 被害状況及び対応状況について

【配付資料】

- ・ 総理指示
- ・ 内閣府提出資料
- ・ 気象庁提出資料
- ・ 国土交通省提出資料
- ・ 防衛省提出資料
- ・ 経済産業省提出資料

総理指示

- ① 被害情報の共有・集約に遺漏なきを期し、人命救助を第一に、救出・救助活動を始めとする災害応急対策に全力を挙げること
- ② 地方自治体と緊密に連携し、被災地域の道路・ライフラインの確保に万全を尽くすこと
- ③ 地域住民の皆様が目線に立ち、政府一丸となって、生活支援・復旧対策に当たること

今冬期の大雪等による被害状況等について

※これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。

平成24年2月2日
15時00分現在
内閣府

■降雪の現況と見通し（気象庁情報）

1. 積雪の深さの状況（2月2日現在の速報）

・全国の日本海側の地方を中心として平年を上回っている所が多く、平年の2倍以上となっているところもある。

2. 積雪の観測値（2月2日11時現在）

※道府県ごとの積雪深最大地点を抽出し、降順に並べ替えた上位10位

酸ヶ湯（青森県）	430cm	平年比 150%
肘折（山形県）	350cm	平年比 143%
関山（新潟県）	339cm	平年比 229%
大山（鳥取県）	278cm	平年比 246%
野沢温泉（長野県）	257cm	平年比 166%
兎野高原（兵庫県）	199cm	（平年値なし）
只見（福島県）	194cm	平年比 120%
幌糠（北海道）	188cm	平年比 125%
白川（岐阜県）	186cm	平年比 158%
藤原（群馬県）	182cm	平年比 126%

3. 今後の見通し

- ・2月2日（木）は発達中の低気圧が三陸沖を東に進み、日本付近は3日（金）にかけて、強い冬型の気圧配置が続く
- ・北日本と、東日本から西日本の日本海側を中心に、4日（土）頃まで雪が続く
- ・3日（金）にかけては、大雪となる所があり、積雪はさらに増える
- ・太平洋側でも積雪となる所がある

3日6時までの24時間に予想される降雪量（いずれも多いところ）

北陸地方	80センチ
東北地方	60センチ
関東甲信地方（群馬県、長野県）	50センチ
東海地方（岐阜県）、近畿地方、中国地方	40センチ
四国地方	20センチ

- ・その後、来週はじめにかけては雪の降りやすい状態は解消するが、7日（火）頃から再び降雪量が多くなる見込み

■被害の状況

○人的・物的被害（消防庁調べ：2月2日15:00現在）

平成23年11月から平成24年2月2日まで（速報値）

都道府県名	人的被害				住家被害					非住家被害	
	死者	行方不明	重傷	軽傷	全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	公共施設	その他
	人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟
北海道	10		78	85		1					7
青森	9		61	81			1		3		1
岩手	1		9	4							
宮城											
秋田	10		47	58			5		2		7
山形	2		79	40			2		2		4
福島											1
茨城											
栃木											
群馬			2	2							
埼玉				1							
千葉				1							
東京											
神奈川				2							
新潟	13		47	97	1	1	3		3	2	14
富山	1		2	9					5		
石川			1	1			1				
福井	2		4	6					2		
山梨											
長野	8		6	20							
岐阜				4							
静岡			1				1				
愛知											
三重											
滋賀				1							
京都			1	1							
大阪											
兵庫											
奈良											
和歌山											
鳥取				1							
島根											
岡山											
広島											
山口											
徳島											
香川											
愛媛											
高知											

都道府県名	人的被害				住家被害					非住家被害	
	死者	行方不明	重傷	軽傷	全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	公共施設	その他
	人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟
福岡											
佐賀											
長崎											
熊本											
大分											
宮崎											
鹿児島											
沖縄											
合計	56		338	414	1	2	13		17	2	34

【死者の概要】

死亡状況	65歳未満	65歳以上	合計
雪崩による死者	3	1	4
屋根の雪下ろし等、除雪作業中の死者	12	31	43
落雪等による死者	2	5	7
倒壊した家屋の下敷きによる死者			
その他	1		2
合計	18	38	56

○農林水産等（農林水産省調べ：2月2日11:00現在）

区分	主な被害	被害数	被害地域
農作物等	ビニールハウス等の損壊	292箇所	北海道、秋田県、山形県、福島県、新潟県、石川県、福井県
	リンゴの枝折れ、野菜(ほうれんそう等)・花きの損傷等	0.2ha	青森県、秋田県、山形県、福島県、石川県
林野関係	林地荒廃	2箇所	北海道、秋田県
水産関係	漁業用施設	1箇所	北海道

注：被害については、現時点で判明しているものを計上しており、引き続き調査中。

○文教施設等（文部科学省調べ：2月2日12:00現在）

区分	被災箇所数
国立学校施設	1
公立学校施設	2
私立学校施設	2
社会教育・体育、文化施設等	2
計	7

※主な被害状況：バックネットの破損、自転車置場などの倒壊、樹木の倒壊 等

○短縮休校等(文部科学省調べ：2月2日12:00分現在)

- ・臨時休校(2月2日) 4県123校(青森87(小42、中27、高17、特1)
新潟1(特1)、岐阜6(幼1、小1、中1)、
鳥取29(小17、中1、高11))
- ・短縮授業(2月2日) 6県 89校(青森7(小1、中1、高5)、宮城22(中2、高20)、
新潟18(小11、中6、特1)、富山1(高1)、
岐阜38(幼6、小12、中6、高14)、
鳥取3(小1、高2))

○公共土木施設等(国土交通省調べ：2月2日13:00現在)

被害なし

○水道(厚生労働省調べ：1月31日17:00現在)

現在、断水している市町村なし。

※断水が発生したが既に全戸復旧済みの市町村 北海道白老町 2,500戸

○医療機関(厚生労働省調べ：1月31日17:00現在)

特になし

○社会福祉施設(厚生労働省調べ：1月31日17:00現在)

特になし。

○道路(国土交通省調べ：2月2日14:00現在)

- ・高速道路における大雪に伴う通行止め 18路線(2月2日14:00時点)
- ・直轄国道における大雪に伴う通行止め 2路線(2月2日14:15時点)
- ・国道279号(青森県管理国道)

※立ち往生車両等の発生により、青森県野辺地町有戸～むつ市大曲の約39km通行止め
(2月2日21:00)

○鉄道(国土交通省調べ：2月2日14:00現在)

6事業者24路線で運休中

○空港施設等(国土交通省調べ：2月2日14:00現在)

被害なし

本日の運航状況は大雪の影響により、約46便欠航

○バス(国土交通省調べ：2月2日9:30現在)

30事業者41路線で運休中

○通信等(総務省調べ：2月2日14:00現在)

- ・電気通信事業関係
固定電話 被害なし
携帯電話 基地局が3局（長野県で2局、島根県で1局）停波
- ・防災行政無線関係
被害なし

○放送（総務省調べ：1月31日11:00現在）
被害なし

■災害救助法の適用

新潟県は、1月14日に上越市、妙高市、1月28日に長岡市、柏崎市、十日町市、糸魚川市、1月31日に南魚沼市を対象に、大雪（障害物（降雪）の除去）に係る災害救助法を適用

■自衛隊の災害派遣

【北海道】

派遣部隊 陸自 第12施設群（岩見沢）
派遣規模 人員 延べ約770名
車両 延べ約420両

- ・1月17日18：50に北海道知事から災害派遣要請
- ・同日22：30に連絡員（人員8名、車両2両）を派遣
- ・1月18日09：33から岩見沢市において除排雪支援を実施
- ・1月18日10：00から三笠市において除排雪支援を実施
- ・1月22日14：00に北海道知事から撤収要請

【青森県】

派遣部隊 海自 大湊地方隊、第25航空隊（大湊）
派遣規模 人員 約40名
車両 3両
航空機 1機

- ・2月2日0：30に青森県知事から災害派遣要請
- ・同日04：44に大湊地方隊の人員、車両が現地到着。以後、活動開始
- ・同日07：41に第25航空隊のSH-60J×1機が情報収集活動を実施
- ・同日12：00に青森県知事から撤収要請

■政府・各省庁の対応

- ・人命の保護を第一とした防災態勢の一層の強化を図るため、中央防災会議会長（内閣総理大臣）による「降積雪期における防災態勢の強化等について」の通知を発出（12月9日）
- ・降積雪期の対応に係る関係省庁連絡会議を開催（12月22日）

- ・災害即応体制の強化、除雪作業中の事故防止に向けた普及啓発の徹底及び高齢者等の事故防止について、改めて、人命の安全確保を最重点とする雪害対策に万全を期すよう、内閣府、総務省消防庁及び国土交通省による「除雪作業中の事故防止に向けた普及啓発の徹底等について」の通知を発出（1月27日）
- ・今冬期の大雪等への対応に係る関係省庁連絡会議を平野防災担当大臣の下で開催し、今後の気象状況の見通し及び被害・対応状況について情報共有を行うとともに、以下の対応方針を確認した。（1月31日）
 - ①今後の降雪に対しても、関係省庁間の情報共有を密にし、災害即応体制の強化を図ること
 - ②道路・ライフラインの確保や雪下ろし時の転落事故防止のための普及啓発など、万全を期すること
 - ③被害の状況を早期に把握するとともに、被害の拡大防止に向けて国と地方の連携をさらに強化し、引き続き大雪等への警戒を怠らないこと

○警察庁の対応

- ・都道府県警察に対し、除排雪作業に伴う事故防止に向けた広報啓発や交通管理対策、大規模な雪害事案発生時の的確な対応について通知を発出（12月16日）
- ・降雪状況を踏まえ、都道府県警察に対し、改めて所要の雪害防止対策について通知を発出（2月1日）
- ・大雪に伴う部隊出動状況
 - ①雪崩に伴う捜索（秋田県警察）

2月1日、秋田県玉川温泉（仙北市田沢湖玉川字渋黒沢）の屋外にある岩盤浴施設において発生した雪崩に伴い、3名が巻き込まれた事案について、秋田県警察機動隊35名を現場に派遣し、捜索活動を実施。（本日午後1時30分に捜索終了。）
 - ②大雪に伴う部隊運用（新潟県警察）

特に、大雪に見舞われている新潟県においては、新潟県警察機動隊12人（車両4台）を十日町署に6人（車両2台）、妙高署に6人（車両2台）派遣し、要保護世帯等を中心とした安全パトロール等に当たっている。

○消防庁の対応

- ・都道府県防災主管課長会議（12月21日）、全国消防防災主管課長会議（2月1日）を開催し、その中で、降積雪期における防災態勢の強化、除雪作業中の事故防止に向けた普及啓発の徹底等について要請

○金融庁の対応

- ・災害救助法の適用決定を受け、新潟県内の関係金融機関等に対し、日本銀行と財務省関東財務局の連名で「新潟県の大雪にかかる災害に対する金融上の措置について」を発出し、災害関係の融資に関する措置を含む、金融上の措置を要請（1月15日）

○総務省の対応

- ・災害救助法の適用を受けた市町村の無線局免許人に対し、電波利用料債権の催促状及び督促状の送付を停止する措置を実施（1/18 新潟県上越市、妙高市 1/30 新潟県長岡市、柏崎市、十日町市、糸魚川市 1/31 新潟県南魚沼市）
- ・鳥取県から貸出要請があり、衛星携帯電話 15 台を 1 月 20 日に発送。23 日に同県到着
- ・島根県から貸出要請があり、衛星携帯電話 15 台を 1 月 31 日に発送。2 月 1 日に同県到着

○農林水産省の対応

- ・園芸用施設における降雪・積雪対策について通知を発送（12 月 22 日）
- ・農作物等の被害防止に向けた技術指導通知を発送（1 月 13 日）
- ・通帳等を紛失した預貯金者等に対する応急措置の要請通知を発送（1 月 15 日）
- ・被害農林漁業者等に対する資金の円滑な融通、既貸付金の償還猶予等について関係金融機関に依頼通知を発送（1 月 16 日）
- ・山地災害に対する適切な応急対応及び迅速な被害報告について通知を発送（1 月 26 日）
- ・農業共済の迅速かつ適切な損害評価の実施及び共済金の早期支払等について通知を発送（1 月 31 日）
- ・農業用施設等の災害に対する迅速な応急措置及び被害報告について通知を発送（2 月 1 日）
- ・被害農林漁業者等に対する資金の円滑な融通、既貸付金の償還猶予等について関係金融機関に依頼通知を発送（2 月 2 日）

○文部科学省の対応

- ・関係都道府県の教育委員会に対し、警戒避難体制等防災体制の整備と、児童生徒等の安全対策及び施設の安全確保に万全を期すよう要請（北海道・青森・岩手・宮城・福島・秋田・山形・栃木・群馬・長野・山梨・新潟・富山・石川・福井・岐阜・京都府・大阪府・兵庫・奈良・滋賀・和歌山：12 月 22 日 12 時 58 分、各都道府県（宮崎、鹿児島、沖縄を除く）：1 月 24 日 18 時 50 分）、北海道・青森・岩手・宮城・福島・秋田・山形・長野・新潟・富山・石川・福井・岐阜・京都府・大阪府・兵庫・奈良・滋賀・和歌山・鳥取・島根・岡山・広島・山口：1 月 30 日 18 時 16 分）

○国土交通省の対応

- ・今後の新潟県上越市内の除雪対応のため、1 月 30 日に上越市より、北陸地方整備局の保有する除雪機材の貸出について要請を受け、2 月 2 日より除雪車 1 台・照明車 2 台を貸出。
- ・今後の新潟県南魚沼市内、妙高市内の除雪対応のため、2 月 1 日に南魚沼市、妙高市より、北陸地方整備局の保有する除雪機材の貸出について要請を受け、2 月 2 日より南魚沼市へ除雪車 2 台、妙高市へ除雪車 2 台を貸出。

- ・ 1日 17 時ごろ、国道 279 号（青森県管理：下北郡横浜町）で、吹雪により約 30km の区間で断続的に数百台が立ち往生。東北地方整備局は、青森県庁にリエゾン2名を派遣。
- ・ 1日 17 時ごろに発生した、玉川温泉（秋田県仙北市）の雪崩災害に対し、2 日（独）土木研究所雪崩・地すべり研究センター職員を派遣し、3 日朝から現地調査を実施予定。
- ・ その他、北海道開発局より北海道岩見沢市に災害情報連絡担当官（リエゾン）を派遣（1月17日～18日）し、岩見沢市の雪捨場の確保等の除排雪対策を支援。

■その他の対応

○ボランティア関係（厚生労働省調べ：1月30日17:30現在）

- ・ 新潟県の柏崎市及び長岡市の社会福祉協議会において災害ボランティアセンターを設置

1. 積雪の状況

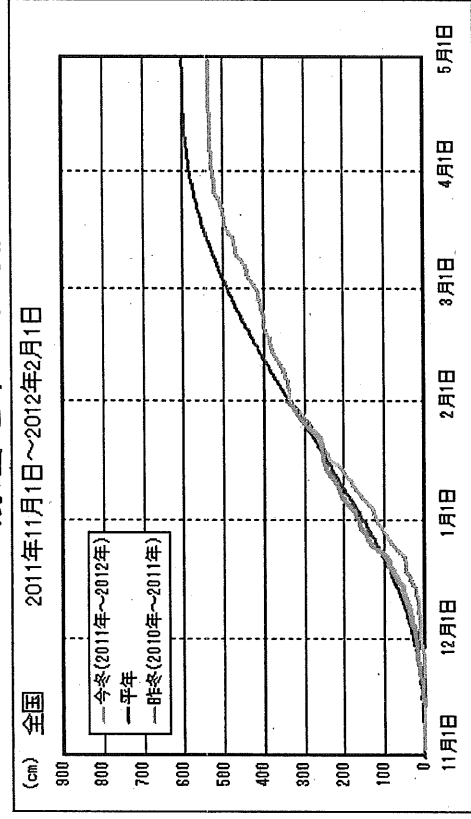
【2012年冬の積雪の深さの状況(2月2日現在の速報)】

・全国の日本海側の地方を中心として平年を上回っている所が多く、平年の2倍以上となっているところもある。

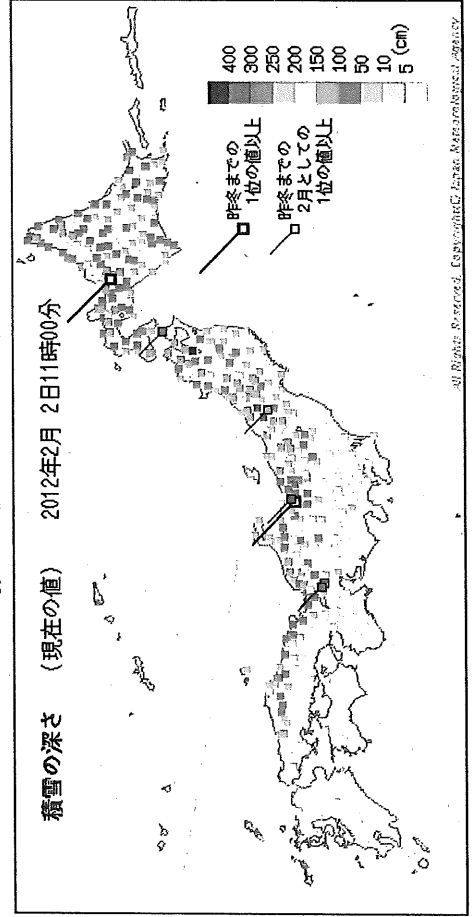
【積雪の深さ(2月2日11時現在)】

酸ヶ湯(青森県)	430cm	平年比150%
肘折(山形県)	350cm	平年比143%
関山(新潟県)	339cm	平年比229%
大山(鳥取県)	278cm	平年比246%
野沢温泉(長野県)	257cm	平年比166%
兔野高原(兵庫県)	199cm	(平年値なし)
只見(福島県)	194cm	平年比120%
幌糠(北海道)	188cm	平年比125%
白川(岐阜県)	186cm	平年比158%
藤原(群馬県)	182cm	平年比126%

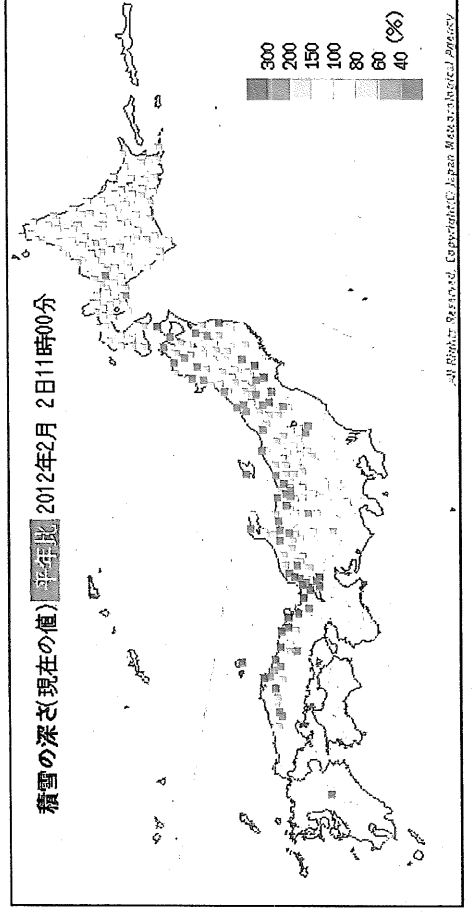
累積降雪量の経過
(豪雪地帯の平均値)



積雪の深さ



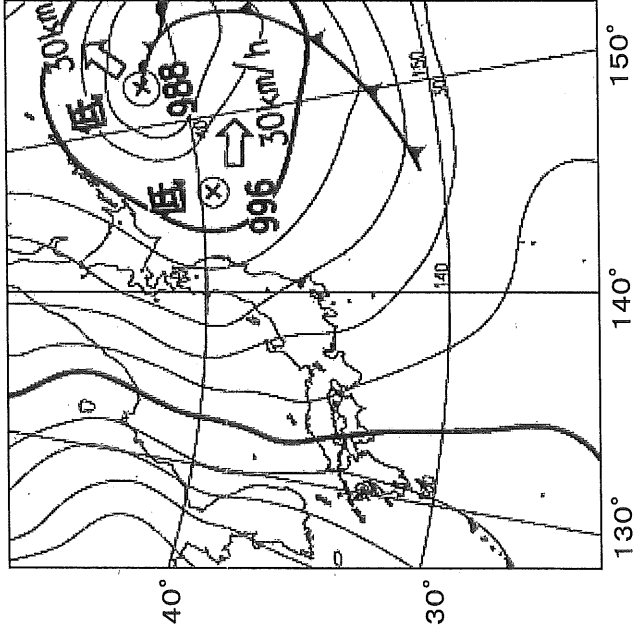
平年比



2. 実況天気図・気象衛星画像・気象レーダー

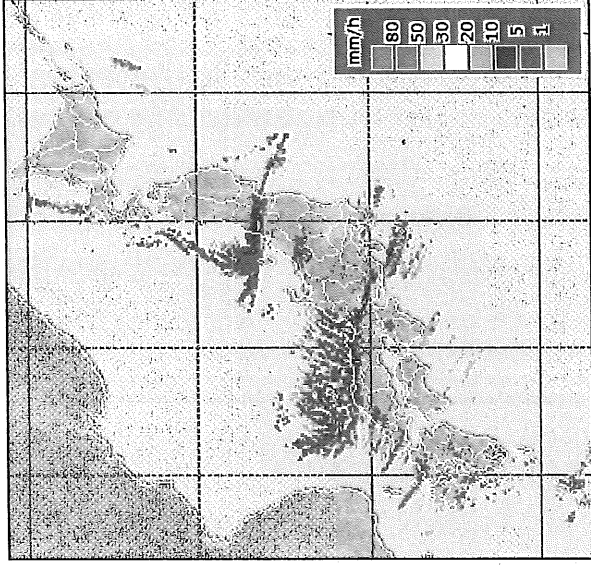
実況天気図

(平成24年2月2日9時現在)



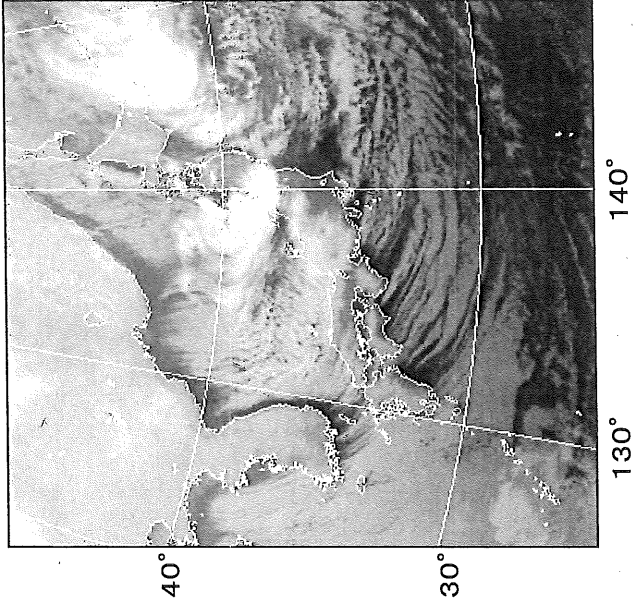
気象レーダー

(平成24年2月2日9時現在)



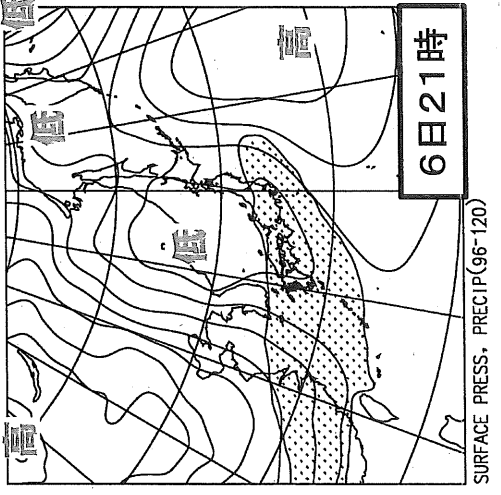
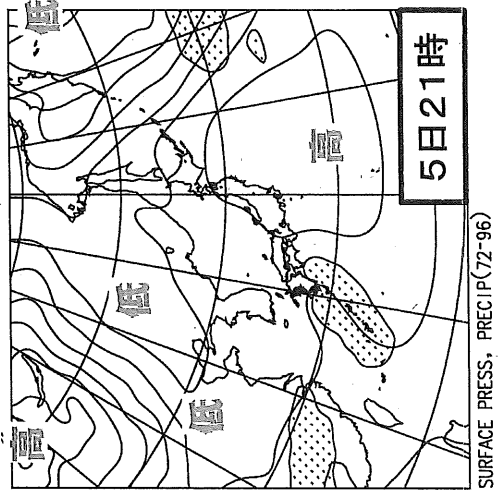
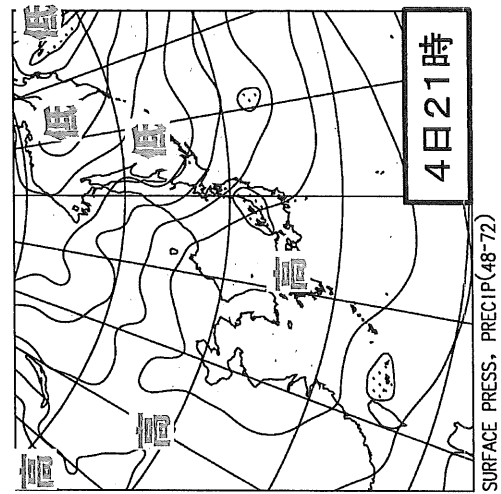
気象衛星画像 (赤外)

(平成24年2月2日9時現在)

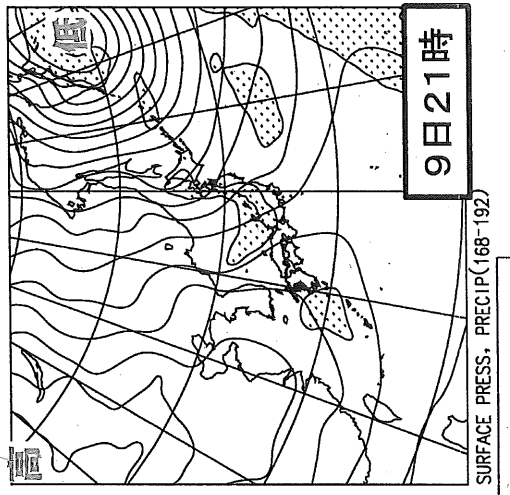
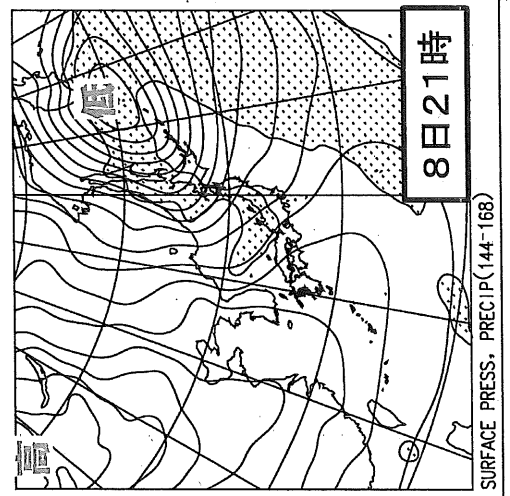
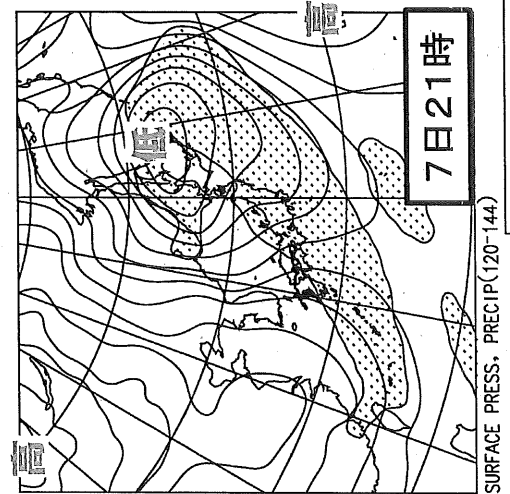


日本付近は強い冬型の気圧配置となっている

3. 予想天気図

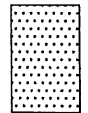


冬型の気圧配置は、来週初めにかけて、いったん緩むが、



7日頃から再び冬型の気圧配置が強まる

網点：雪または雨の範囲



4. 今後の気象の見通し

【気象経過の予想】

- ・2月2日(木)は発達中の低気圧が三陸沖を東に進み、日本付近は3日(金)にかけて、強い冬型の気圧配置が続く
- ・来週はじめにかけて、冬型の気圧配置はいったん緩むが、7日(火)頃から再び冬型の気圧配置が強まる
- ・その後、しばらくは低温傾向が続き、日本海側では雪が降りやすい状況が続く見込み。

【向こう1週間の天気の見通し】

- ・北日本と、東日本から西日本の日本海側を中心に、4日(土)頃まで雪が続く
- ・3日(金)にかけては、大雪となる所があり、積雪はさらに増える

・太平洋側でも積雪となる所がある

3日6時までの24時間に予想される降雪量(いずれも多いところ)

北陸地方	80センチ
東北地方	60センチ
関東甲信地方(群馬県、長野県)	50センチ
東海地方(岐阜県)、近畿地方、中国地方	40センチ
四国地方	20センチ

- ・その後、来週はじめにかけては雪の降りやすい状態は解消するが、7日(火)頃から再び降雪量が多くなる見込み

【注意・警戒事項】

- ・大雪やふぶきによる鉄道・道路・航空などの交通障害に警戒
- ・積雪の多い所はなだれに一層の注意が必要、低温による路面凍結、電線や樹木の着雪、突風、高波などにも注意
- ・除雪・排雪時の事故や屋根からの落雪などにも注意が必要

5. 向こう1週間の天気予報

日付	3 金	4 土	5 日	6 月	7 火	8 水	9 木
釧路	-16/-4 0/0/10/0	-13/-1 20	-13/-2 20	-11/1 30	-6/3 50	-11/-2 20	-13/-3 20
旭川	-19/-7 10/20/40/20	-17/-4 70	-16/-5 70	-15/0 30	-11/1 70	-15/-5 80	-17/-7 70
札幌	-9/-3 50/40/30/20	-9/-1 60	-9/-2 30	-6/3 30	-5/3 70	-9/-4 80	-11/-5 50
香森	-6/-2 50/60/50/50	-6/1 80	-4/0 40	-4/6 40	-4/4 80	-6/-3 30	-7/-4 80
秋田	-5/0 40/60/40/60	-5/3 90	-3/2 40	-3/7 40	-2/5 80	-5/-1 80	-6/-3 80
仙台	-5/2 20/20/10/20	-4/6 20	-1/6 20	-1/9 40	0/7 40	-3/1 30	-5/0 30
新潟	-2/3 70/60/40/70	0/5 80	0/5 50	2/9 40	2/7 70	-2/2 70	-3/0 70
金沢	-2/5 60/40/60/70	1/5 80	2/8 40	2/10 40	1/7 70	-1/2 70	-1/2 70
東京	-1/6 0/0/0/0	1/9 10	3/11 20	4/10 40	5/11 50	4/9 20	1/7 20
宇都宮	-6/6 10/0/0/10	-5/8 10	-1/10 30	0/9 40	2/10 60	-1/8 20	-4/5 20
長野	-7/-1 50/30/20/30	-5/3 40	-2/6 30	-2/7 40	-1/5 50	-5/1 50	-6/0 50
名古屋	-2/4 10/20/20/10	0/8 20	2/10 20	3/13 50	4/11 40	1/6 30	-1/6 30

日付	3 金	4 土	5 日	6 月	7 火	8 水	9 木
大阪	-1/6 10/10/10/20	2/9 20	3/11 30	5/13 50	4/11 40	2/6 30	1/6 30
高松	-4/7 10/10/20/10	0/9 20	2/12 30	5/13 50	3/10 40	0/7 30	0/7 30
松江	-2/3 50/30/30/20	1/6 40	1/10 40	4/11 50	1/6 40	-1/5 50	-1/4 40
広島	-3/6 30/20/20/10	0/9 20	2/11 40	5/12 50	1/9 40	-1/6 30	-1/7 30
高知	-4/8 20/20/20/10	-1/11 10	4/14 30	8/16 50	4/13 40	0/9 20	-1/9 20
福岡	-1/5 50/50/20/20	2/9 40	5/14 40	7/14 50	3/7 40	1/5 40	2/6 40
鹿児島	-2/9 10/10/10/20	3/13 30	7/16 50	11/18 50	5/12 40	2/10 30	3/11 30
奄美	10/13 30/30/30/20	11/17 40	14/20 50	15/21 50	12/16 50	11/14 40	11/15 40
那覇	12/16 20/20/30/30	13/19 40	17/22 60	17/23 60	15/18 60	14/17 40	15/19 40
石垣	15/20 30/20/20/20	16/22 60	19/24 40	17/25 40	16/19 60	16/20 40	17/22 40

1月30日からの大雪による被害状況

1. 国土交通省の対応

- ・警戒体制：本省、東北地整、北陸地整、近畿地整
- ・注意体制：九州地整、東北運輸、北陸信越運輸、中部運輸、近畿運輸、神戸運輸監理部、中国運輸、九州運輸
- 各地方支分部局、都道府県知事等に対し、国土交通事務次官より「降積雪期における防災態勢の強化について」の通知を发出（12月22日）
- 今後の新潟県上越市内の除雪対応のため、1月30日に上越市より、北陸地方整備局の保有する除雪機材の貸出について要請を受け、2月2日より除雪車1台・照明車2台を貸出。
- 今後の新潟県南魚沼市内、妙高市内の除雪対応のため、2月1日に南魚沼市、妙高市より、北陸地方整備局の保有する除雪機材の貸出について要請を受け、2月2日より南魚沼市へ除雪車2台、妙高市へ除雪車2台を貸出。
- 1日17時ごろ、国道279号（青森県管理：下北郡横浜町）で、吹雪により約30kmの区間で断続的に数百台が立ち往生。東北地方整備局は、青森県庁にリエゾン2名を派遣。
- 1日17時ごろに発生した、玉川温泉（秋田県仙北市）の雪崩災害に対し、2日（独）土木研究所雪崩・地すべり研究センター職員を派遣し、3日朝から現地調査を実施予定。
- その他、北海道開発局より北海道岩見沢市に災害情報連絡担当官（リエゾン）を派遣（1月17日～18日）し、岩見沢市の雪捨場の確保等の除排雪対策を支援。

2. 所管施設、交通機関の状況

- 道路（2/2 14:00 時点）
 - ・高速道路における大雪に伴う通行止め 18路線（2/2 14:00 時点）
 - ・直轄国道における大雪に伴う通行止め 2区間（2/2 14:15 時点）
 - ・国道279号（青森県管理国道）
 - ※立ち往生車両等の発生により、青森県野辺地町有戸～むつ市大曲の約39km 通行止め（2/1 21:00～）
 - ※青森県は自衛隊に災害派遣を要請（2/2 0:30）
- 鉄道の運行への影響（2/2 14:00 現在）
 - 6事業者 24路線で運休中
- 空港の被害状況（2/2 14:00 現在）
 - 空港施設等被害なし
 - 本日の運航状況は大雪の影響により、約46便欠航
- バスの運休状況（2/2 9:30 現在）
 - 30事業者 41路線で運休中

平成23年度雪害に係る災害派遣

24.2.2
防衛省

青森県横浜町における雪害に係る災害派遣

(1) 災害派遣の概要

要請日時: 平成24年2月2日(火)00時30分

(青森県知事 → 大湊地方総監(大湊))

撤収要請: 平成24年2月2日(火)12時00分

要請内容: 立ち往生車両内の安否確認及び国道279号の状況確認等

(2) 派遣部隊

派遣部隊 海 自 大湊地方隊(大湊)
第25航空隊(大湊)

派遣規模 人員 約40名

車両 3両

航空機 1機

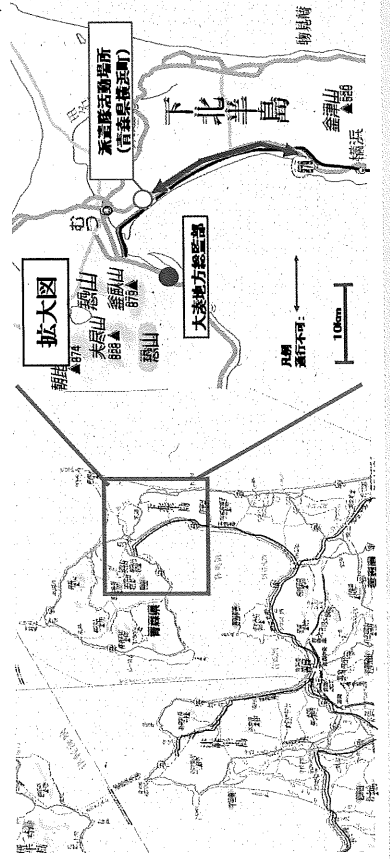
(3) 活動状況

○横浜町

立ち往生車両内の安否確認及び国道279号の状況確認等

○航空機運用

第25航空隊のSH60J×1機により情報収集活動



北海道岩見沢市等における除雪支援等に係る災害派遣

(1) 災害派遣の概要

要請日時: 平成24年1月17日(火)18時50分

(北海道知事 → 第12施設群長(岩見沢))

撤収要請: 平成24年1月22日(日)14時00分

要請内容: 岩見沢市及び三笠市における除排雪支援

(2) 派遣部隊

派遣部隊 陸 自 第12施設群(岩見沢)

派遣規模 人員 延べ約770名

車両 延べ約420両

(3) 活動状況

○岩見沢市: 除排雪支援

市道(岩見沢駅前7条通り、栗沢町美流渡)等

○三笠市: 除排雪支援

市道(多賀町と有明町の境界道、榊堤通り、15,16,31,33,34号線)等

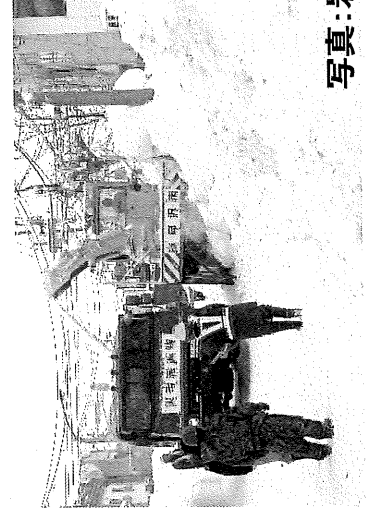


写真: 岩見沢市における除排雪支援

直近の電力需給の状況について

平成 24 年 2 月 2 日

経済産業省

- 2/2（木）は、北陸地方などにおける大雪などにより、中西日本を中心に、電力需要が高まったが、機動的な電力融通などにより、全国的に需給バランスは安定している。
- 2/3（金）についても、機動的な電力融通などにより、全国的に需給バランスは確保できる見通し。引き続き需給対策に万全を期していく。

（参考 1）本日 2/2（木）の需給見通し

単位：万 kW

	北海道	東北	東京	東 3 社	中部	関西	北陸	中国	四国	九州	中西 6 社
予備率	12.2%	6.4%	7.9%	7.9%	6.8%	7.1%	7.2%	8.3%	6.8%	6.0%	7.0%
最大電力需要	550	1,350	4,940	6,840	2,367	2,580	526	1,040	500	1,470	8,483
供給力	617	1,436	5,330	7,383	2,528	2,763	564	1,126	534	1,558	9,073

※最大電力需要の更新により、見直しの可能性あり

（参考 2）明日 2/3（金）の需給見通し

単位：万 kW

	北海道	東北	東京	東 3 社	中部	関西	北陸	中国	四国	九州	中西 6 社
予備率	9.5%	5.4%	12.8%	11.0%	11.4%	7.8%	8.4%	9.0%	9.0%	6.6%	8.9%
最大電力需要	555	1,330	4,770	6,655	2,280	2,440	510	1,010	490	1,450	8,180
供給力	608	1,402	5,379	7,389	2,541	2,631	553	1,101	534	1,546	8,906

※最新の気象状況を踏まえ、本日 18:00 以降に見直す予定（現時点の最新版）

平成24年(2012年)今冬の降雪による被害状況等について
【第2報】(2月2日14時00分現在)

平成24年2月2日
経済産業省

経済産業省関連の被害状況等は、現時点で把握している限りで、以下の通り。

1. ライフライン関係

- (1) 電力
被害情報なし。引き続き情報収集中
- (2) 都市ガス
被害情報なし。引き続き情報収集中
- (3) LPガス
被害情報なし、引き続き情報収集中
- (4) 工業用水道事業
被害情報なし、引き続き情報収集中

2. その他

- (1) 中小企業関係

【山形県】

- ・雪の重みにより百貨店前の歩道アーケード(百貨店所有、約40年前に設置)が損壊(1件:米沢市)

【北海道】

- ・雪の重みにより社屋等の屋根が損壊(2件:岩見沢市)
- ・降雪による道路等の寸断により、物・人の流れが一時的にストップ、これに伴い企業活動、売上げ等に影響が懸念されたが(1月24日)、現在は除雪等によりほぼ通常状態。

【青森県】

- ・雪の重みにより社屋等の屋根が損壊(1件:黒石市)
- ・雪の重みによりプレハブ工場が倒壊(1件:黒石市)
- ・流雪溝が雪で詰まり店舗が床下浸水(2件:黒石市)

【秋田県】

- ・社屋等の屋根、窓ガラス、壁等の一部損壊(9件:横手市、大館市、秋田市、五城目町、八峰町、能代市、千北市)
- ・落氷により飲食店への引き込み配線が断裂(1件:大仙市)
- ・雪の重みにより飲食店駐車場のカーポートが倒壊(1件:北秋田市)
- ・雪の重みによりキャンプ場施設(休憩所屋根)が倒壊(1件:藤里町)
- ・雪の重みによりガソリンスタンド屋根が倒壊(1件:大館市)

【福島県】

- ・雪の重みにより東日本大震災で被災した自動車整備工場社屋が倒壊(1件:棚倉町)

その他、社屋の屋根の破損等、軽微な被害報告数件有り。

3. 経済産業省の対応

平成23年12月27日(火)

○中央防災会議長(野田内閣総理大臣)からの防災態勢の強化についての指導要請を受け、保安院名で一般電気事業者に対し対応強化要請を发出(NISA-238b-11-11)

平成24年 1月31日(火)

○内閣府防災「今冬期の大雪等への対応に係る関係省庁連絡会議」に出席(12:30-13:00)

○地方局を含め省内各局に、「当面の対応方針」を含め、上記「連絡会議」に関する情報を周知するとともに、引き続き被害状況の早期把握に努めるよう要請。

平成24年 2月 2日(木)

○大雪のピークを迎えたことから、電力安全課から電気事業連合会に対して、各社に要請している予防対策、復旧の場合の対応などについて、業界団体としても協力いただくように要請。(電力安全課長から電事連工務部長)

○第1回民主党豪雪災害対策本部へ保安院が出席(14:00-14:30)

【問い合わせ先】 経済産業省大臣官房総務課
金指、村上、中山

TEL : 03-3501-1327 (直通)

FAX : 03-3501-1704

